

国際研究集会「熱水活動を伴う火山のモニタリング：観測と地質構造の融合」
International Workshop on Volcano Monitoring in Hydrothermally Active Systems:
Bridging Observations and Geological Frameworks

2015 年の箱根火山の水蒸気噴火から 10 年を迎えるにあたり、本研究集会では、火山活動の兆候把握および水蒸気噴火の予測困難性に焦点を当て、国内外の観測技術やモニタリングの最新動向を共有します。特に、熱水系を伴う火山における活発化の定量的評価や、火山浅部の熱水構造や関連する班岩鉱床の成因に関する地質学的研究との融合にも着目し、水蒸気噴火の物理的理解とリスク評価に資する新たな視点の構築を目指します。本研究集会には、6 名の国外の研究者を招待しており、グローバルな火山観測と熱水構造の研究について議論を実施し、将来に向けた課題と展望を共有します。

日程：令和 7 年 12 月 5 日(金)、6 日(土)

会場：神奈川県立生命の星・地球博物館 講義室（講演はオンラインで配信する予定です）

対象：火山学および関連分野の研究者、火山関係の行政担当者ほか

定員：会場 50 人(発表者・関係者除く)、オンライン配信 300 人

ポスター発表の件数の上限：40 件

プログラム(講演の時間・順番は今後の調整で変更になる可能性があります)：

12 月 5 日(金) 招待講演者による講演

9:40-10:40 Prof. Stephen Cox (Australian National University, Australia)

10:40-11:40 Dr. Steve Ingebritsen (United States Geological Survey, USA)

13:00-14:00 Prof. Jeffrey Hedenquist (University of Ottawa, Canada)

14:00-15:00 Dr. Sally Potter (Canary innovation Ltd., New Zealand)

15:15-16:15 Prof. Cheng-Horng Lin (Institute of Earth Sciences, Academia Sinica, Taiwan)

※講演は英語で行います。通訳はありません。

12 月 6 日(土)

9:30-12:00 一般参加者等によるポスター発表(会場のみ)

6 日(土)の PM には同会場で国際シンポジウムを開催します。

この研究集会に申し込まれた方には、6 日(土)の PM に開催予定の国際シンポジウムの web 配信もご覧いただけます。国際シンポジウムに現地参加を希望される場合は、そちらにも申し込みください。

参加・発表申し込み：神奈川県電子申請システム e-kanagawa にて受付

<https://www.onken.odawara.kanagawa.jp/information/20251205ws.html>